

救いの業を速める

救いの業の一部である 5 つの分野それぞれについて、次の質問について深く考えます。

- 神の業のこの分野におけるあなたの努力は、どのように他の人を救いの祝福に近づけることができますか。
- 主の救いの業のこの分野を支援することによって、どのような経験をし、どのような祝福を受けましたか。
- 現在の教会の召しを問わず、救いの業のこの分野に貢献するには何ができるでしょうか。

会員伝道活動

十二使徒定員会のニール・L・アンダーセン長老は次のように教えています。



「兄弟姉妹、主はさらに多くの宣教師が奉仕するように靈感を下されました。同様に主は確かに、主の宣教師を受け入れるように、さらに多くの善良で正直な人々の意識を目覚めさせ、心を開かせておられます。皆さんはそのような人をすでに知っているか、または知ることでしょう。その人は皆さんの家族の中におり、また近隣に住んでいます。通りで皆さんのそばを通り過ぎ、学校で近くに座っており、インターネットで皆さんと接しています。皆さんもこの奇跡が行われるときの重要な当事者なのです」

上着に宣教師の名札を付ける専任宣教師でない場合、パウロが『墨によらず生ける神の霊によって書かれ』と述べたように(2 コリント 3:3)、今こそ皆さんの心にそれを描く時です。……誰にも、この奇跡に貢献できるものがあります。」(「これは奇跡です」『リアホナ』2013 年 5 月号, 78)

改宗者の定着

十二使徒定員会の M・ラッセル・バラード長老は、次のように教えています。



「福音のもたらす祝福を余すところなく受けられるよう、皆さんもわたしも自分でできることは全て行わなければなりません。」

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は皆さんやわたしに、主の共働者となって教会のための主の計画を果たす責任があることを改めて教えました。衛星放送の中で、ヒンクレー大管長は次のように語っています。

『主は、全ての作られた者に福音を教えることを戒めとしてわたしたちに与えておられます。そのために、専任宣教師とステーク宣教師全員が最善の努力をする必要があります。全てのビショップとその顧問、そしてワード評議会の全員が、最善の努力をする必要があります。』(「子羊を見だし、羊を養う」『リアホナ』1999 年 7 月号, 124) 全ての会員が最善の努力をしなければならないの

です。」(「会員が鍵である」『リアホナ』2000 年 9 月号, 14)

あまり活発でない会員の活発化

「わたしたちの役割は、周りの人々を愛し、彼らに仕えることに没頭すること、すなわち、困っている同僚を慰め、友人をバプテスマ会に招き、近所に住むお年寄りの庭仕事を手伝い、あまり活発でない教会員を食事に招待して、近所の人の家族歴史を手伝うことです。これらはどれも、あまり活発でない教会員や異なる信仰を持つ人々をわたしたちの生活に招き入れ、結果として福音の光を分かち合うためにできる、自然で、楽しい方法です。わたしたちの生活の楽しい時間と神聖な時間を分かち合うことが、実は『人々の霊の救いのために(イエス・キリストの) ぶどう園で働く』最も効果的な方法なのです(教義と聖約 138:56)。」(「救いの業を速める」『リアホナ』2013 年 10 月, 30)

神殿・家族歴史活動

十二使徒定員会クエンティン・L・クック長老は次のように教えています。



「教会の指導者たちは若者たちに向かって、高らかに響き渡る声を上げています。テクノロジーを使う道を先導して、エリヤの霊を実感し、先祖を探し、先祖のために神殿の儀式を行うようにと呼びかける声です。生者と死者の両方を救う業を速めるうえで

困難な仕事の多くが、若い世代の皆さんによって行われるのです。」(「根と枝」『リアホナ』2014 年 4 月号, 46)

福音を教える

「福音を教える責任は、教師としての正規の召しを受けている人に限られない。皆さんは、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として、福音を教える責任がある。親や息子、娘、夫、妻、兄弟、姉妹、教会指導者、クラスの教師、ホームティーチャー、訪問教師、仕事の同僚、隣人、友人として、皆さんには福音を教える機会がある。話す言葉や証によって人々の前で直接教えることもあるが、常に模範を通して教えている。」(『教師、その大いなる召し—福音を教えるための資料集』3-4)

